

2018年3月8日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

マンション大規模改修工事における IoT 技術の活用 ～スマートエントランスを使用し、セキュリティー向上に寄与～

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀 克英）は、神奈川県川崎市で管理受託するマンションにおいて、大規模改修工事における共用エントランス・通用口のセキュリティー向上を目的に、スマートロックおよびオートエントランス開錠システムの試験導入を行いますので、お知らせいたします。

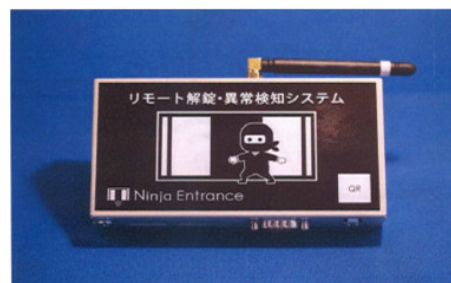
IoT活用については、東急不動産ホールディングスグループでも様々な取り組みを行っております。当社においても、お客様の安全性、利便性向上につながる施策を検討、実施してまいります。

※東急不動産ホールディングスグループの取り組みについては、3月5日付リリース「IoTを活用したスマートホームサービス『Taskus』今春より実証実験を開始」リリースをご参照ください。

・大規模改修工事における IoT 活用

本システムは、株式会社ライナフ（本社：東京都千代田区/代表取締役社長 滝沢 潔）のスマートロック「NinjaLock」およびオートエントランス解錠システム「NinjaEntrance」を使用するものです。管理室内など、マンションの共用エントランス付近に指定の機器を設置すると、以下の方法で開錠をすることが可能になります。

- ① 自動音声開閉
登録した電話番号から発信すると開錠
- ② アプリ開錠
専用アプリをダウンロードしてアプリから操作
- ③ 近距離自動開錠
専用アプリのセットにより、近づくと自動開錠



これまで大規模改修工事を行う際は、作業員の入館のため、管理組合から共用エントランスの鍵を借用しておりました。本システムの活用により、鍵の紛失リスクを防げる他、開錠可能者および開錠時間の限定ができ、セキュリティー向上につながります。併せて、鍵の貸し出しの手間がなくなるなど、お客様の利便性向上にもつなげることができます。3月着工予定のマンション大規模改修工事において試験導入して検証を行い、他マンション工事への展開や、工事以外の活用方法など検討いたします。

今後も、IoTの活用による各種施策を検討し、お客様への安全、安心な暮らしのサポート、利便性向上につながる提案を継続してまいります。